

議会がチエツク！町の家計簿

9月定例会は「決算議会」とも言われ、前年度の町のお金の収支(決算)に関することを中心に全20議案を審議しました。この議会日よりでは、審議の経過を中心にお知らせします。(審議の結果と議員ごとの賛否内訳は13ページをご覧ください)

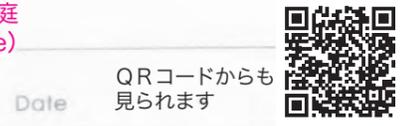


寄居町議会では、決算審議を本会議にて議員全員で行っています。今回の決算審議では、さまざまな角度から議員が町に考えを聞きました。皆さんの暮らしに直結する項目を抜粋してお知らせします。次ページ以降も、ぜひご覧ください。

次のページは「暮らし目線」で聞きましたー福祉・健康・子育て・安全ー



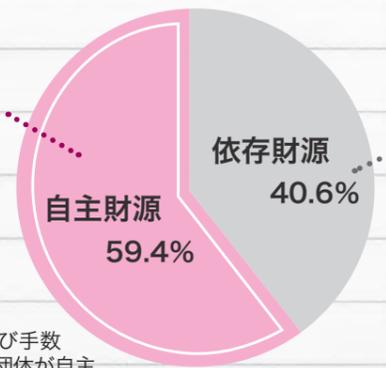
決算の詳細な金額などは各ご家庭に配布した「広報よりい(Y'Life)11月号」に掲載されています。あわせてご覧ください！



平成26年度 町の収入 (入ったお金)

		25年度との比較
町税	みなさんからの税金	54億6700万円 (14.2%増)
	繰越金	5億6100万円 (20.8%増)
	使用料等	3億1500万円 (2.7%増)
	その他分担金等	6億1300万円 (5.0%増)
国県交付金	国と県からの補助金	21億2700万円 (18.6%増)
地方交付税	国の税金からの配分	11億4600万円 (22.2%減)
町債	借りたお金	7億9200万円 (2.9%増)
	地方消費税交付金	3億5200万円 (21.2%増)
	その他地方譲与税等	3億2200万円 (7.5%増)
収入の合計		117億400万円 (8.0%増)

自立力はどのくらい？
自主財源比率
59.4%



自主財源比率とは
地方税、使用料及び手数料など、地方公共団体が自主的に収入とすることができる財源の比率で、行政活動の自主性と安定性の尺度とも言われます。
平成26年度決算では、前年度と比べて2.8ポイントアップしました。

平成26年度 町の支出 (使ったお金)

		25年度との比較
民生費	福祉などの充実のために	39億9600万円 (5.1%増)
総務費	計画推進のための経費	11億7900万円 (-)
衛生費	町の衛生のために	11億7600万円 (7.2%増)
教育費	学校や生涯学習のために	11億3900万円 (10.3%増)
土木費	土木工事などに	11億円 (10.0%増)
公債費	借りているお金の返済	9億5500万円 (8.7%増)
消防費	消防や救急のために	6億1800万円 (1.2%減)
農林水産業費	農業などのために	3億8000万円 (60.7%増)
その他	議会費・商工費・諸支出金	4億8500万円 (12.6%増)
支出の合計		110億3400万円 (7.3%増)
収入ー支出		6億7000万円

農林水産業費の大幅増、その理由は
前年度に比べ60%以上増加した農林水産業費の26年度決算額。26年2月の大雪により農業用施設や農作物が被災し、施設の撤去や再建支援事業などに1億6000万円以上使われました。



特徴1
平成26年度は後期計画の3年度目。歳出は110億3400万円余の決算額。

特徴2
町税が初めて50億円超。企業立地で固定資産税などが増加。

特徴3
男衾駅周辺整備・スマートIC関連事業で普通建設事業費は対前年度比46.4%増。